

「平和でこそ商売繁盛」「インボイス中止させよう」と声をあげていきましょう！

発行：2022年8月1(月) No. 483

名古屋北部民商ニュース

名古屋北部民主商工会
〒462-0035 北区大野町3-19
TEL (052)915-8111
FAX (052)915-8111
E-mail jimukyoku@hokubuminsho.st1.jp

配達・集金活動に参加してみんなで民商を支えよう！

新支部長のもとで支部役員会を再開

25日夜、民商事務所で黒川支部役員会を4名参加で、久しぶりに開催できました。毎年、常任理事（支部長兼任が多い）を選出してきたものの、仕事の都合等で機関会議や支部役員会にも参加できないケースが多く、コロナ禍もあり、この間、未開催に。今期は、先々週号の名古屋北部民商ニュースでも紹介した山田さんが常任理事会にもしっかり参加し、「商工新聞の配達にも頑張っていきたい！」と元気よく発言され、全体の活性化にもなっています。

そもそも、山田さんの役員決意の動機は、昨年税務調査で民商に入会したこと。税務調査対策会議での役員熱心な態度に、「夜にも関わらず、役員さんたちが調査対策会議のためにきてくれて、すごくうれしかった。恩返しをしたい」と語っていました。その後、県連総会に代議員として参加し「民商はすごい組織ですね」と確信を深め、黒川支部総会や本部総会にも参加し、「支部長をやってほしい」との働きかけに決意しました。

役員会では、黒川支部総会や本部総会、業者後援会として取り組んだ参議院選挙の報告や感想を出し合いました。続いて、民商でのこの間の取り組みとして、①事業復活支援金、②R4年の予定納税の減額申請の報告を行い、今年に入っての新しい税務調査の取り組みを、昨年の山田さんの調査内容も合わせて、学びあいました。山田さんは「調査のときには民商の皆さんに本当に助けてもらった」と感慨もひとしお。さらに、常任理事会でも発言していた商工新聞の配達も、会員の住所を地図で確認したものを参考に、「ここここは、まとめて配れそうだね」とにぎやかに相談しました。



「あистア」の再調査が始まります

「あистア」認証を受けた飲食店に対して、愛知県から「認証店の再調査」の連絡がメールで届いています。再調査の実施期間は、7月26日～2023年1月31日。調査に応じない場合や改善されない場合、認証を取り消すこともある、と告知されています。主な確認項目は（1）消毒設備の設置（2）マスク会食の実施とともに定期的な手洗い手指消毒をするよう、ポスター掲示や呼びかけ等（3）飲食時の対人距離の確保：客席間を最低1メートル確保するまたはアクリル板、パーティション等を設置するなどの対策。7月26日に民商・愛商連として、飲食店に過度な負担となったり不利益を被ったりすることがないように、申し入れしました。

全国の事務局員の奮闘に力をもらおう

7月23日（土）午前10時30分から午後3時30分まで「全商連第31回事務局員交流会」が、ウェブ開催されました。初めに太田全商連会長が「ますます民商・全商連の役割が重要になっている。事務局員の皆さんの奮闘に期待します」とあいさつ。その後、石川康広神戸女学院大学教授より講演。石川氏は、参議院選挙結果の分析を詳細に語られ、自公圧勝というが、自民党の比例票は伸びてない、自民も公明も得票率が低下、自公政権ははじめ改憲勢力にとっての「黄金の3年間」を「失われた3年間」とするために、市民と野党の共闘の立て直しが必要等、テンポよく語られました。選挙結果にがっかりしていましたが、今後の運動に向けて力をもらえました。パネルディスカッションでは、北海道空知民商、高知・高知民商、長崎・東彼民商の事務局員3名が発言。空知民商のカバーする地域は10市14町で、面積は三重県と同じ、そういうなかで役員が集まって活動しているのは素晴らしいと思いました。どこの民商も事務局員の新規採用には苦慮しているようでした。代表報告の半数は女性だったのもよかったですと思います。活動する場所は違っても、それぞれの民商で中小業者の営業と暮らしを守ろうと努力しているのは同じだなあと連帯感を感じられました。選挙結果を見ても、地域での運動が一層重要になっています。交流会で学んだことを生かして秋の運動を頑張りたいと思います。

事務所の夏季休業：8月11日（木・祝）～16日（火）ご協力よろしくお願ひします。